



# 校長室だより

黒部市立荻生小学校  
文責：校長 寺島紀子  
令和4年7月22日  
第16号

## 1学期、いろいろありがとうございました

忘れていた梅雨を思い出したかのように雨が多い今日この頃ですが、予報に反しよい天気の間帯もあります。終業式間近の今週は、晴れ間を見て最後のプール学習を楽しむ学年もちらほら見られました。感染症の波がひとまず収まりよかったです。夏休み中のプール開放は残念ながら中止としましたが、各ご家庭の判断の下、市営プールや海水浴場等を活用し、水に親しんでいただければと思います。



今日22日（金）で第1学期の学校生活が終わります。長いようであつという間の4ヵ月間でした。感染症への対応等々で、その都度、学校として最善の策をとるよう心がけましたが、保護者の皆様、各ご家庭、地域の皆様にはご迷惑やご心配をおかけすることが多々あったことと思います。それでも、皆様にはいつも温かいご理解とご協力をいただきました。大変感謝しております。ありがとうございました。

私個人としては、校長としてこの4月に本校に着任して以来、なるべく校内を回り各教室におじゃまして、子供たちと先生方の様子を見つめるように努めてきました。何とか1学期中に荻っ子159名全員の名前と顔が一致するようになりました。また、各教室の雰囲気やよさを感じ取り、学校としてこれから取り組んでいくべきことについても意識できました。夏休み中にしっかりと充電し、2学期からの学校運営に生かしていきたいと考えています。

何はともあれ、この1学期、本当にありがとうございました。子供たちにとって楽しい夏休みとなりますように…。

## ★夏休み中の「校長室だより」はホームページでお楽しみください

これまで紙面の都合で取り上げられなかった話題や夏休み中の登校日の様子等を少しずつお伝えしたいと思っています。学校のHP上のみでの発行となりますので、時々HPをチェックしてみてください。

## 6年生「いのちの授業」

20日（水）3限に6年生の「いのちの授業」を行いました。これは県教委の事業を活用し「いのちの先生」を外部からお招きし、授業をしていただくというものです。本校は今年も、黒部市民病院の助産師水島香苗先生に授業をしていただきました。6年生はこの授業を迎えるに当たり、命について考える事前学習を積み重ねてきたとのことでした。また保護者の皆さんにも、この日の授業を参観していただきました。お忙しい中、多数のご参加をありがとうございました。

水島先生は、絵や新生児の人形、パワーポイント（スライド）等を使って、分かりやすく語りかけるようにお話をしてくださいました。先生のお話の中でも特に印象的だったのは、母胎（子宮）の中で成長した胎児がいよいよ誕生するときには、産もうとするお母さんの力や周囲の人々のお陰だけでなく、何より赤ちゃん自身の生まれようとする意思と生命力でこの世に生まれ出てくるのだという内容でした。さらに授業の最後には「大切に守られてきたあなたのいのち これからは自分で守っていきこうね」と結ばれました。

この授業のあとに校長室でお話を聞いたところ、水島先生はここ数年で特に、「思春期の子供たちに自己肯定感を育てたい、希望をもって生きてほしい」と思うようになったとのことでした。なるほど、そんな先生の心が伝わる授業だったな、と思いました。水島先生、子供たちに温かく熱いメッセージをどうもありがとうございました。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。



## 夏休みに向けての地区児童会を行いました

20日(水)の午後に、各地区別に集まったの地区児童会を行いました。5・6年生の児童がリードする形で、25日(月)からのラジオ体操の計画やその他夏休みの過ごし方を確認しました。長い夏休みをそれぞれの家庭、地域で健康・安全に過ごしてほしいと願っています。



### シリーズ「教室におじゃまします」7/20(水)5年算数科の巻

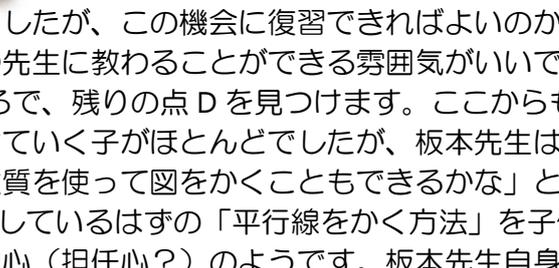
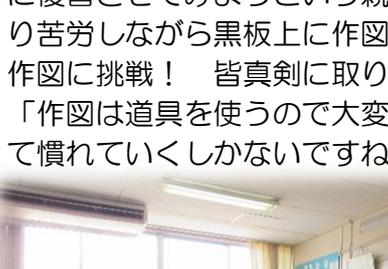
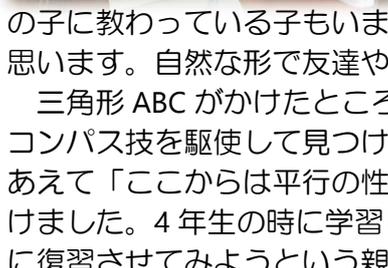
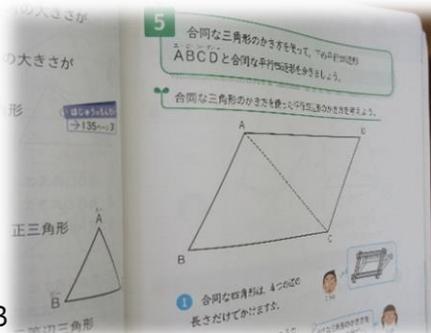
1学期も残りわずか。算数の授業も追い込みです。この日は平行四辺形の作図の学習でした。合同な三角形のかき方を使って、教科書の平行四辺形 ABCD と合同な図形をノートにかきます。図形の下の方にある辺 BC の長さを測ると 8cm。この辺をまずノートにかくのがスタートです。

板本先生は同様の作図を黒板上で行っていきます。

ほとんどの子はコンパスを使って辺 AB と辺 AC の長さをそれぞれ写し取り、ノート上で操作することで点 A の位置を見つけています。これは三角形の合同条件「三辺の長さがそれぞれ等しい」を使っているということですね。よく分かっているようです。まあ中にはコンパスを忘れて近くの子から借りている子や、コンパスの使い方を近くの子に教わっている子もいましたが、この機会に復習できればよいのかなとも思います。自然な形で友達や先生に教わることができる雰囲気がいいですね。

三角形 ABC がかけたところで、残りの点 D を見つけます。ここからもさらにコンパス技を駆使して見つけていく子がほとんどでしたが、板本先生はここであえて「ここからは平行の性質を使って図をかくこともできるかな」と投げかけました。4年生の時に学習しているはずの「平行線をかく方法」を子供たちに復習させてみようという親心(担任心?)のようです。板本先生自身もかなり苦労しながら黒板上に作図し、子供たちもそれにつられるようにノートでの作図に挑戦! 皆真剣に取り組んでいました。

「作図は道具を使うので大変だけど、まあ、練習して慣れていくしかないですね」という先生の悟りのような言葉で授業が終わりました。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第16号への感想

年 児童名